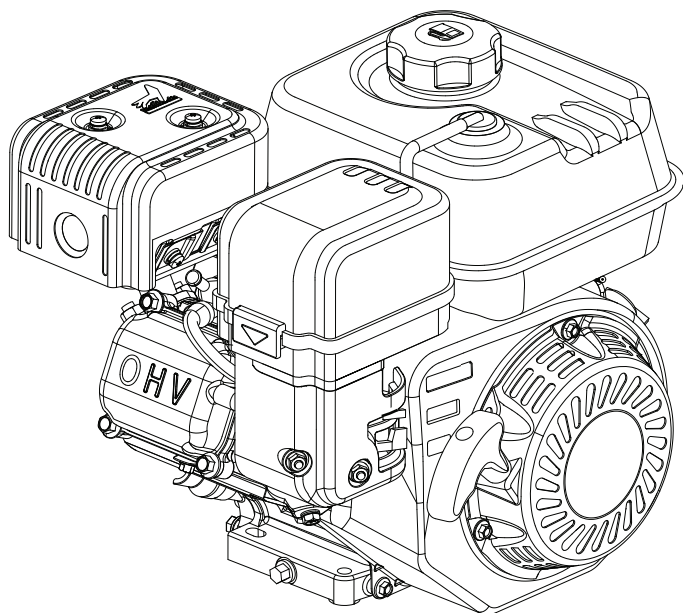


**G200FA G210FA G250FA
G300FA G390FA**



**Register
your product**
www.kaercher.com/welcome



目次

一般的な注意事項.....	3
安全上の注意事項.....	3
機器の説明.....	4
初期稼働.....	4
運転.....	5
輸送.....	6
保管.....	6
お手入れとメンテナンス.....	7
トラブルシューティングガイド.....	10
技術データ.....	10

一般的な注意事項



装置の初期使用前に、この取扱説明書および安全注意事項をお読みください。記載事項に従ってください。

これらを、後の使用あるいは次の所有者のために保管してください。

安全上の注意事項

△ 危険

- これらの取扱説明書を理解している人だけがエンジンを運転することができます。
- 爆発の危険性がある場所で機器を操作しないでください。
- 危険エリア（ガソリンスタンドなど）で機器を使用する場合は、そのエリアの安全規制を遵守してください。
- 不適切な燃料による爆発の危険。取扱説明書に指定されている燃料のみを使用してください。
- 燃料がこぼれた場合は、機器を使用しないでください。このような場合は、機器を別の場所に移動し、火花を発生させないようにしてください。
- 燃料は許可された容器にのみ保管してください。
- 裸火の近くや、オープン、暖房用ボイラー、給湯器など、パイロットランプのある機器や火花が出る恐れのある機器には燃料を保管しないでください。上記の環境で燃料を使用したり、こぼしたりしないでください。
- 給油中または燃料保管場所で喫煙したり、直火を使用したりしないでください。
- タンクをいっぱいにししないでください。タンク入口の最大燃料レベルマークを超えないようにしてください。
- 給油は、風通しの良い場所で、エンジンが停止しているときのみ可能です。この燃料は非常に可燃性が高く、特定の条件下では爆発する可能性があります。給油が完了したら、燃料タンクの蓋を必ず閉めてください。
- 燃料とハウジングが繰り返しまたは長時間接触した場合は、燃料を吸い込まないようにしてください。
- 給油する前に、暖かいエンジンを2分間冷却します。
- エンジンを冷却してから、狭い場所に保管してください。
- 可燃物はマフラーから2 m以上離してください。
- マフラーなしで使用しないでください。マフラーを定期的に点検し、必要に応じて清掃または交換してください。
- 排気管にスパークキャッチャーが装備されていない場合は、森林、藪、草むらで機器を使用しないでください。
- エアフィルターを取り外した状態や、吸気口にカバーがない状態でエンジンを運転しないでください。

- コントロールスプリング、ガバナコントロールリンクージなど、エンジンの速度を上げるような調整は行わないでください。
- マフラー、シリンダー、冷却フィンなどの高温部分には触れないでください。
- 手足を回転部品に近づけないでください。
- エンジン運転中は点火ケーブルやスパークプラグに触れないでください。

△ 警告

- 子供や未成年者は機器を使用できません。
- 子供が機器で遊ばないように注意してください。
- 排気ガスは有毒です。排気ガスは絶対に吸い込まないでください。機器を使用する部屋は十分に換気し、排気ガスが排出されることを確認してください。
- 燃料系統に損傷や漏れがある場合は、エンジンを運転してください。燃料系統を定期的に点検し、損傷した部品を交換してください。
- 説明書に記載されているこれらの安全上のヒントは、すべての使用状況をカバーするものではありません。原則として、メンテナンスおよび運転中はすべての安全上の注意事項を遵守してください。

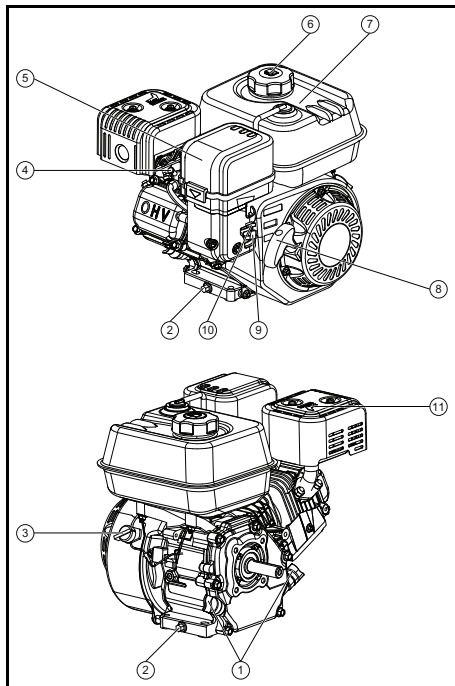
△ 注意

- 火災の危険やエンジンの損傷を防ぐために、冷却フィンとスターターロープには草やその他の汚れがないようにする必要があります。

注意

- エンジンメーカーの純正部品のみを使用してください。他のサプライヤーからの部品は、エンジンを損傷し、その耐用年数を短くする可能性があります。
- スターターの損傷を防ぐため、エンジン作動中にスターターロープを引っ張らないでください。
- 新鮮な燃料のみを使用してください。古い燃料はキャブレター内に残留し、エンジンの性能に影響を与える可能性があります。

機器の説明



- ① オイルレベルゲージ付きオイル充填用スクリュー
- ② オイルドレンスクリュー
- ③ エンジンスイッチ
- ④ スパークプラグ
- ⑤ エアフィルター
- ⑥ 燃料タンクの蓋
- ⑦ 燃料タンク
- ⑧ スターターロープ
- ⑨ 燃料コック
- ⑩ チョーク
- ⑪ マフラー

初期稼働

⚠ 危険 不適切な燃料

爆発の危険

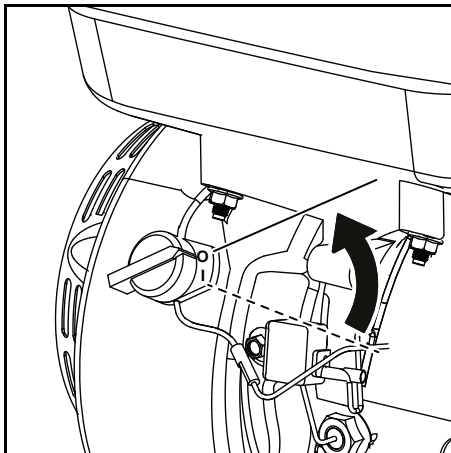
ガソリンのみを使用してください。ディーゼル燃料などの不適切な燃料は使用しないでください。古いガソリンは絶対に使用しないでください。ガソリンをオイルと混合しないでください。燃料タンクに汚れや水が入らないようにしてください。

注意

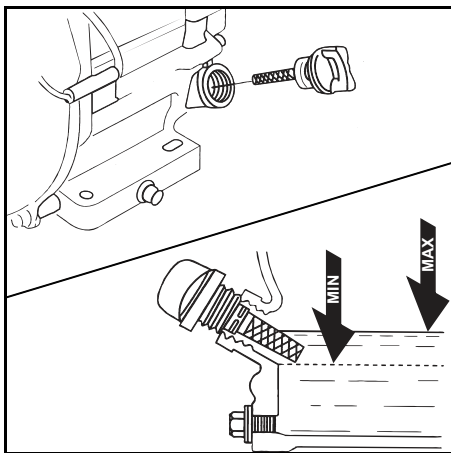
エアフィルターなしでエンジンを稼働させてください
エンジンの摩耗が増加

エンジンはエアフィルターで動作することを確認してください。

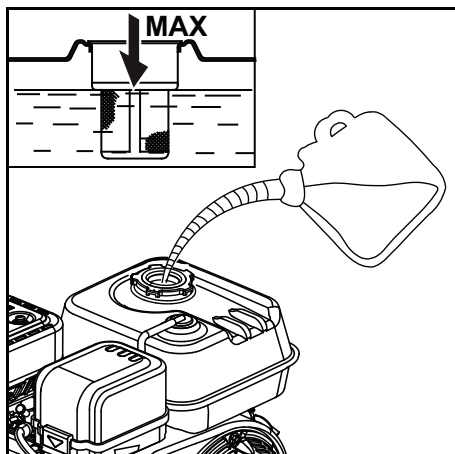
1. 機器を水平面に置きます。
2. エンジンスイッチをオフにします。



3. エンジンに燃料やオイルの漏れがないか確認してください。漏れがある場合はそれを排除します。
4. すべてのネジが締められていることを確認します。すべてのカバーを所定の位置に固定する必要があります。緩んだコネクタを締め付けます。
5. マフラーの周囲に汚れがないか確認してください。汚れがあれば取り除きます。
6. エアフィルターに汚れや損傷がないか確認してください。汚れの度合いに応じて、エアフィルターを清掃してください。
7. オイルレベルを確認してください。詳細については、第 1章 オイルレベルの点検章を参照してください。



8. 燃料タンクの蓋を緩めます。
9. タンクを補充します。



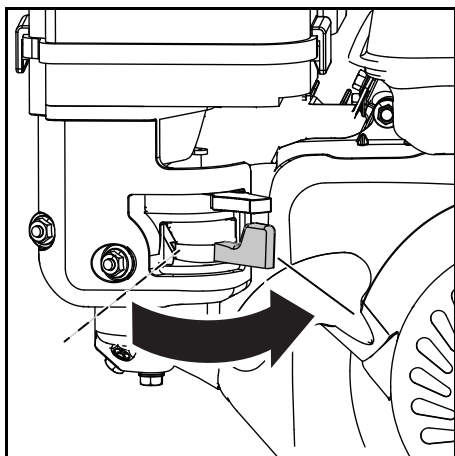
注意事項

- 環境仕様に合ったガソリンを使用してください。
 - 最大レベル、つまりフィルター面を超えないようにしてください。
(詳細については、第 技術データ章を参照してください。)
10. 燃料タンクの蓋を閉めます。
 11. エンジンで駆動する機器の使用上の安全性を確認してください。機器が故障している場合は、エンジンを始動しないでください。

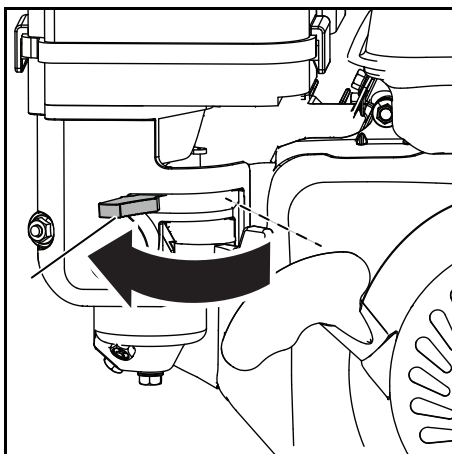
運転

運転

1. 燃料コックを開きます。

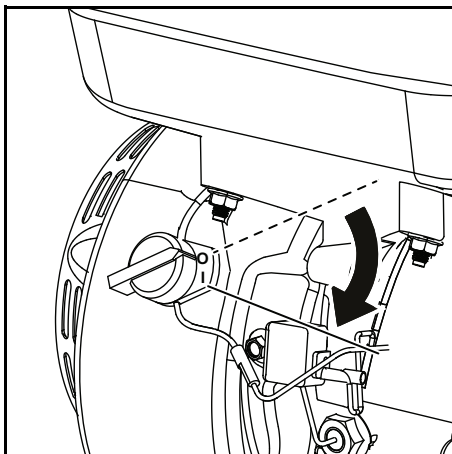


2. チョークを閉じます。

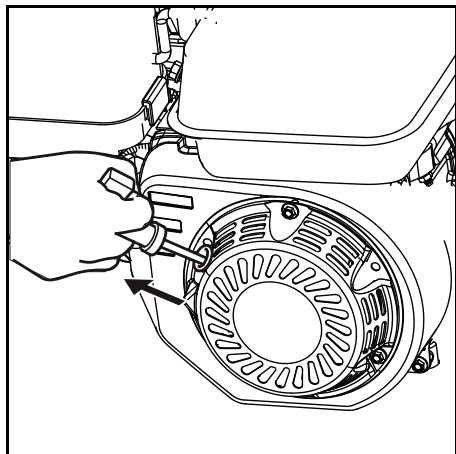


注意事項

- エンジンが温まっている間は、チョークを閉じないでください。
3. エンジンスイッチをオンにします。



4. 抵抗を感じるまで、スターターロープをゆっくりと引きます。



5. 両手を使って、スターターロープをすばやく完全に引き出します。
6. スターターロープをゆっくりとデフォルト状態に戻します。

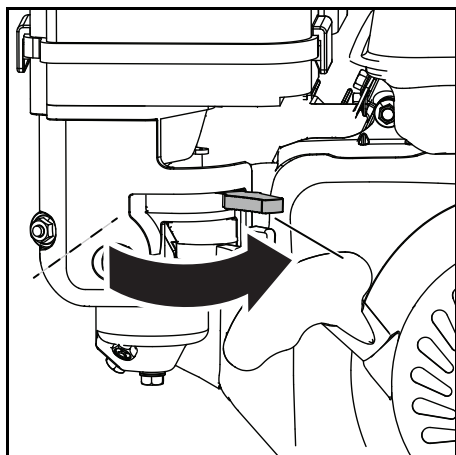
注意

不適切な運転

スターターの損傷

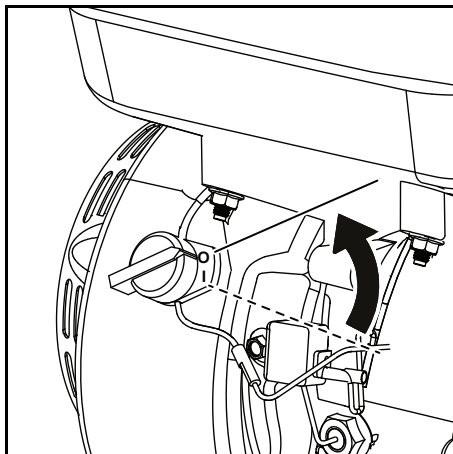
始動後、スターターロープをゆっくり戻してください。

7. エンジンが始動しない場合は、手順4~6を繰り返します。
8. エンジンが暖まり、スムーズに作動したらすぐにチョークを開けてください。

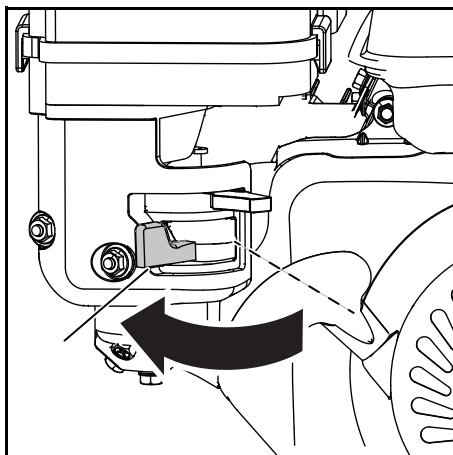


運転の終了

1. エンジンスイッチをオフにします。



2. 燃料コックを閉じます。



輸送

△ 危険

燃料またはこぼれた燃料

自然発火の危険性

燃料がこぼれないように、輸送中はエンジンを水平に保ってください。

△ 注意

機器運搬時の転倒・転落を防止する

出荷前に15分以上エンジンが冷えている状態にしてください。エンジンが冷えたら、輸送車両に移動します。

保管

△ 危険

可燃性の燃料

爆発の危険

タンクに燃料が残っている場合は、火気や電化製品の近くにエンジンを保管しないでください。

△ 注意

機器保管時の転倒・転落を防止する

保管の際には機器の重量に注意してください。機器は屋内で保管してください。

注意

浸水によるエンジンの損傷

マフラーやエアフィルターに水が浸入しないようにしてください。

注意

水分

腐食の危険性

湿度の高い場所にエンジンを保管しないでください。

1. スパークプラグコネクタを取り外します。
2. オイルを交換してください。
詳細については、第 オイル交換章を参照してください。
3. エンジンを少なくとも30分間冷却します。
4. エンジンの外面を清掃します。
5. 損傷した塗料を修理し、錆びやすい表面にわずかにオイルを塗ります。
6. 機器を1か月以上保管する場合は、燃料を排出してください。
7. スパークプラグを緩めます。
8. シリンダーに5~10 cm³のエンジンオイルを入れます。
9. スターターロープを数回引き、エンジン内にオイルを行き渡らせませす。
10. スパークプラグをねじ込みます。

11. 抵抗を感じるまでスターターロープをゆっくりと引きまます。
12. スターターロープをゆっくりと放します。
13. 乾燥した場所に保管してください。

注意事項

- タンクが空の場合でも、漏れを防ぐために燃料コックを閉じてください。
- エンジンを水平に置かないと、オイルや燃料がこぼれる可能性があります。
- ほこりからエンジンを保護するためにエンジンを覆います。

お手入れとメンテナンス

△ 警告

不用意な機器の起動

怪我のリスク

機器のすべての作業の前に、スパークプラグを取り外してください。

△ 注意

高温の表面による火傷の危険。

すべての作業を行う前に、機器を冷ましてください。

△ 警告

不適切なサービス

サードパーティの担当者は、エンジンの機能と安全性を損なう可能性があります。

修理やスペアパーツの交換は、認定されたカスタマーサービス担当者のみが行うことができます。機器で作業を行う前に、機器を水平面に置く必要があります。

メンテナンス間隔

	ご使用前に	1か月後に1回/ 20時間後に1回	3か月ごと/ 50時間ごと	6か月ごと/ 100時間ごと	毎年/300時間ごと	2年ごと
ボルトとナットを点検して締め付けます。	X					
エンジンにオイルや燃料の漏れがないか確認してください。 既存の漏れを排除してください。	X					
エンジンオイルを確認して補充してください。	X					
エアフィルターを点検してください。	X					
エンジンオイルを交換してください。		X		X		
エアフィルターを清掃してください。			X			
沈殿物カップを清掃してください。				X		
スパークプラグを確認して清掃してください。				X		
スパークアレスタ (別売) を清掃してください。				X		
スパークプラグを交換してください。					X	
エアフィルターエレメント (ペーパーフィルターのみ) を清掃して、交換してください。					X A	

	ご使用前に	1か月後に1回/ 20時間後に1回	3か月ごと/ 50時間ごと	6か月ごと/ 100時間ごと	毎年/300時間ごと	2年ごと
タペットのクリアランスを確認して、調整してください。					0	
燃料タンクと燃料フィルターを清掃してください。					0	
バーナーチャンバーからバーナー残留物を取り除いてください。					0	
燃料ラインを確認してください。必要に応じて交換してください。						0

X: ユーザーによる実装

O: カスタマーサービスによる実装

A: ほこりの多い場所で使用する場合は、より頻繁にサービスを行ってください

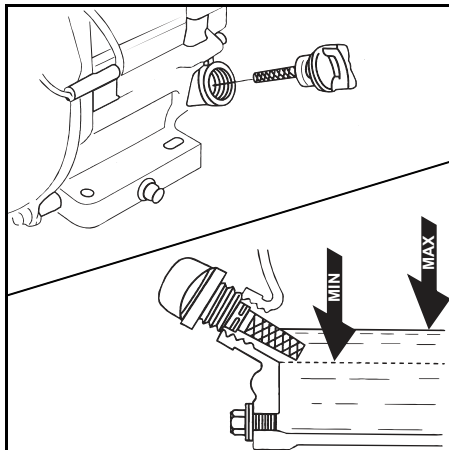
メンテナンス

オイルレベルの点検

注意事項

エンジンを水平に置き、停止状態のオイルレベルを確認します。

1. エンジンスイッチをオフにします。
2. 機器を水平面に置きます。
3. レベルゲージを取り外し、レベルゲージを拭きま



4. レベルゲージをオイル充填口に止まるまで挿入して（ねじ込まないでください）、再び引き抜きます。オイルレベルの値を読み取ります。
5. オイルレベルが低い場合：
オイル（SAE 10 W30 または SAE 15 W40）をオイル充填口の下端まで補充します。
（最大給油量については、第 技術データ章を参照してください。）
6. レベルゲージをねじ込みます。

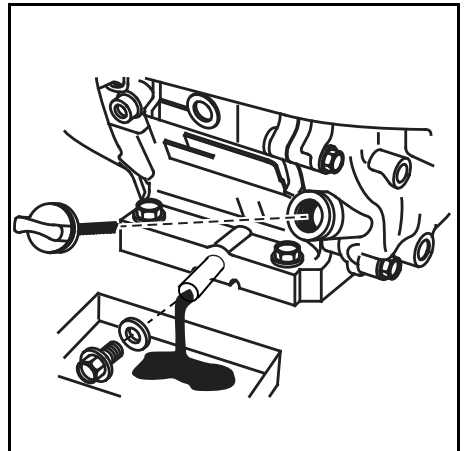
オイル交換

注意事項

エンジンが温まったらオイルを交換してください。

1. レベルゲージを取り外し、レベルゲージを拭きま

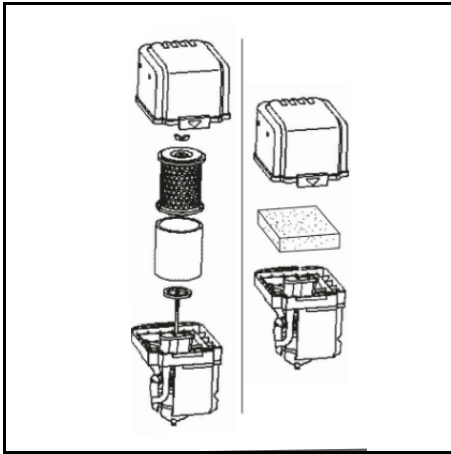
2. オイルドレンボルトを緩め、排出されたオイルを回収します。



3. オイルドレインスクリューを配置して、締め付けます。
4. 機器を水平面に置きます。
5. オイル（SAE 10 W30 または SAE 15 W40）をオイル充填口の下端まで補充します。
（最大給油量については、章を参照してください。技術データ）。
6. レベルゲージをねじ込みます。

エアフィルターの点検

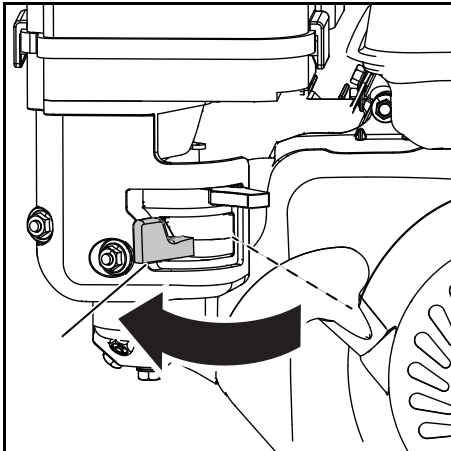
1. エアフィルターハウジングのネジを緩めます。
2. エアフィルターハウジングを取り外します。



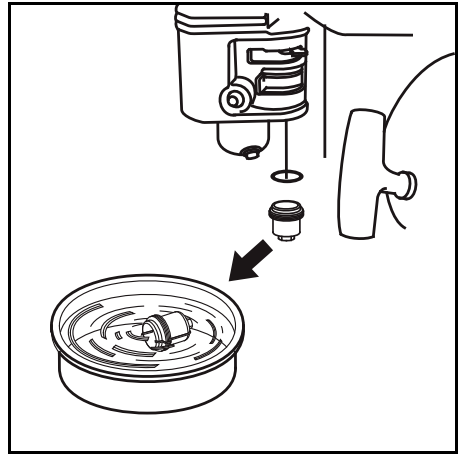
3. 汚れたフィルターエレメントを清掃または交換します。
4. 損傷したフィルターエレメントを交換します。
5. エアフィルターを再度取り付けます。
6. エアフィルターハウジングを再度取り付けます。

沈殿物カップの清掃

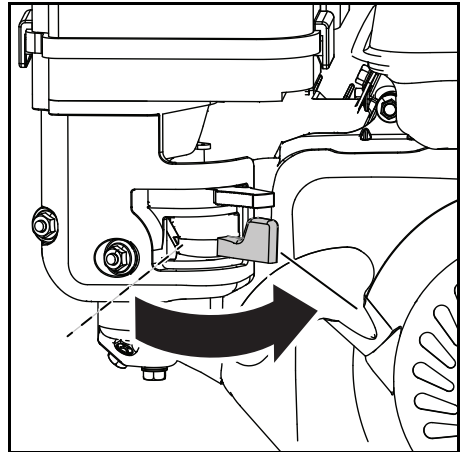
1. 燃料コックを閉じます。



2. 沈殿物カップのネジを緩めます。



3. Oリングを取り外します。
4. 不燃性溶剤を使用して沈殿物カップとOリングを洗浄し、乾燥させます。
5. Oリングを燃料コックに挿入します。
6. 沈殿物カップをねじ込み、締め付けます。
7. 燃料コックを開きます。



8. 沈殿物カップに漏れがないか確認します。
9. 漏れが発生した場合は、Oリングを交換してください。

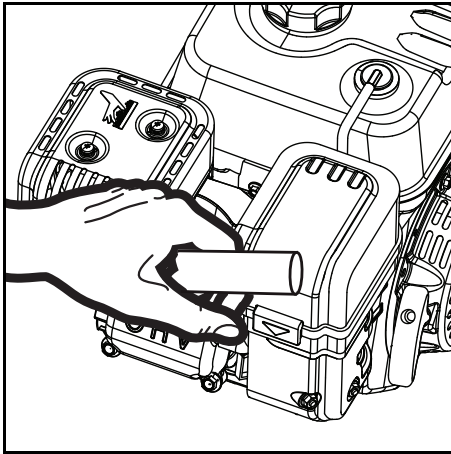
スパークプラグの点検

△ 警告

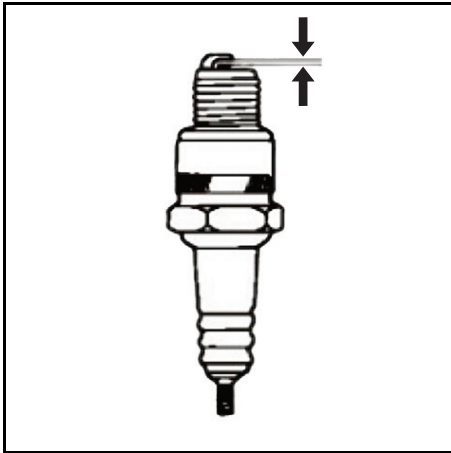
スパークプラグの不適切な取り付け

エンジンの過熱の原因/エンジンやシリンダーヘッド内のネジ山の破損
 スパークプラグの締め付けを緩めすぎたり、過剰に締め付けたりしないでください。
 スパークプラグの締め付けに関する注意事項を遵守してください。

1. スパークプラグコネクタを取り外します。



2. スパークプラグとその周辺を清掃します。
3. スパークプラグを緩めます。
4. 電極が摩耗したり、絶縁体が破損したスパークプラグは交換します。
5. スパークプラグの電極間の距離を確認してください。詳細については、第 技術データ章の接触クリアランスを参照してください。



6. スパークプラグを手で慎重にねじ込みます。ネジ山を傾けないでください。

7. スパークプラグレンチを使用してスパークプラグを停止するまで回し、次のように締め付けます。
 - a 使用済みのスパークプラグは、1/8～1/4回転で締め付けます。
 - b 新しいスパークプラグは1/2回転で締め付けます。
8. スパークプラグコネクタを押し込みます。

トラブルシューティングガイド

△ 警告

不用意な機器の起動

怪我のリスク

機器のすべての作業の前に、スパークプラグを取り外してください。

△ 注意

高温の表面による火傷の危険。

すべての作業を行う前に、機器を冷ましてください。

エンジンが始動しない

エンジンスイッチがオフになっています。

1. エンジンスイッチをオンにします。

燃料コックが閉じています。

1. 燃料コックを開きます。

チョークが開いています。

1. エンジンが温まっていない限り、チョークを閉じてください。

燃料が不足しています。

1. タンクを補充します。

燃料のタイプが一致していないか、古い燃料が充填されています。

1. 燃料タンクとキャブレターを排水します。

2. 指定されたタイプの燃料を新たに追加します。

スパークプラグが汚れています。/電極間の距離が正しくありません。

1. スパークプラグに損傷がないか確認してください。
2. スパークプラグを清掃します。

3. 電極間の距離を確認してください。

スパークプラグに欠陥があります。

1. スパークプラグを交換してください。

スパークプラグが濡れています。

1. スパークプラグを乾かします。

2. スパークプラグをねじ込みます。

エンジン出力低下

エアフィルターが詰まっています。

1. エアフィルターを点検して清掃します。

燃料が不足しています。

1. タンクを補充します。

燃料のタイプが一致していないか、古い燃料が充填されています。

1. 燃料タンクとキャブレターを排水します。

2. 指定されたタイプの燃料を新たに追加します。

圧縮率が低すぎるか、圧縮されていない

スパークプラグが適切に締められていません。

1. スパークプラグを締め付けます。

技術データ

		G200FA	G210FA	G250FA	G300FA	G390FA
機器のデータ						
パワー	kW	4.1	4.4	5.2	6.8	8.5
シリンダー径	mm	68	70	75	80	88
ピストンストローク	mm	54	55	57	60	64
エンジン排気量	cm ³	196	212	252	302	389
燃料のタイプ		無鉛車両ガソリン (86 RON)	無鉛車両ガソリン (86 RON)	無鉛車両ガソリン (86 RON)	無鉛車両ガソリン (86 RON)	無鉛車両ガソリン (86 RON)

		G200FA	G210FA	G250FA	G300FA	G390FA
燃料タンク容量	l	3.0	3.0	4.0	5.5	6.5
オイルタイプ		SAE 10 W30 / SAE 15 W40	SAE 10 W30 / SAE 15 W40	SAE 10 W30 / SAE 15 W40	SAE 10 W30 / SAE 15 W40	SAE 10 W30 / SAE 15 W40
エンジンオイル量	l	0.6	0.6	0.7	0.95	1.1
スパークプラグタイプ		F7RTC	F7RTC	F7RTC	F7RTC	F7RTC
接触クリアランス	mm	0.7 ~ 0.8	0.7 ~ 0.8	0.7 ~ 0.8	0.7 ~ 0.8	0.7 ~ 0.8
寸法と重量						
重量	kg	16	16	16.5	26	31
長さ	mm	312	317	360	380	405
幅	mm	376	376	370	430	450
高さ	mm	345	345	370	410	451
EU規制2016/1628 Euro Vの測定手順によるCO₂排出量						
エンジン	g/kWh	880.45	880.45	791.7	817.85	817.85

技術的な変更が行われることがあります。



THANK YOU!
MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

▶ 延長保証について

品質に自信があるからこそこの長期保証。
お客様が安心してお使い頂けるためのアフター
サービスを提供しています。
ユーザー登録をしていただくと製品(アクセサリー、
パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に
延長されます。

※ご購入後 30 日以内に、当社ホームページから
ユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせて
いただきます。

製品の登録はこちらから



https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html

▶ 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

Tel:045-777-7410

FAX:045-777-7411

受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

▶ 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

サービスフロント

お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。

①機種名 ②故障状況 ③保証書

TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)

受付時間 :9:00 ~ 17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付

<https://forms.gle/RzbPVHMdGowcGx598>



一般修理依頼フォーム(診断・見積)